

平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人

活木活木(いきいき)森ネットワーク

1 事業実施の方針

本格的な利用期を迎えた森林資源を活かし、林業・木材産業の成長産業化を図るためには、様々な分野での新たな木材需要の創出と地域材の安定供給体制の構築を車の両輪として進めていく必要がある。

このため、国民各層に木づかい運動や森林づくり活動への理解と参加を促すための幅広い普及啓発活動として、シンポジウム・セミナーの開催、イベントでの木材製品等の展示、ポスター・パンフレットの製作・配布等を通じて、木の良さや木材利用の意義を一般消費者に情報発信する木づかい広報を実施するとともに、優れた地域材製品等を表彰するウッドデザイン賞を運営した。

また、新たな地域材需要の創出のための製品・技術の開発・普及や、木造建築物・木製品・木質バイオマスなど様々な分野での地域材利用の拡大に対して総合的に支援し、林業の成長産業化の実現を図る必要がある。

このためには、木造公共建築物、木質バイオマス等への林産物の利用促進を図ることが重要であり、この対策のひとつとして、木質バイオマス利活用施設等の整備等に必要資金の借入れについて利子助成を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び 人数	支出額 (千円)
① 森林・環境・木材に関する普及啓蒙事業	正会員及び家族会員に対する森林・環境・木材に関する普及啓蒙活動を行った。	29年4月～30年3月	特に場所を定めない	延33人	一般個人並びに法人 (266名)	146
② 木材利用に関する企画・開発・普及事業	国民各層に木づかい運動や森林づくり活動への理解と参加を促すための幅広い普及啓発活動として、シンポジウム・セミナーの開催、イベントでの木材製品等の展示、ポスター・パンフレットの製作・配布等を通じて、木の良さや木材利用の意義を一般消費者に情報発信する木づかい広報を実施	29年5月～30年3月	日比谷公園、代々木公園、飛驒・世界生活文化センター、東京ビックサイト、農林水産省7階林野庁中央展示ブース、農林水産省消費者の部屋、ポートメッセなご	延1,545人	一般個人並びに法人	18,015

	<p>したほか、優れた地域材製品等を表彰するウッドデザイン賞を運営した。</p>		<p>や第2展示館、兵庫県立有馬高等学校、熊本県立矢部高等学校、熊本県立八代農業高等学校、池袋サンシャインシティ、みやぎアートセンター</p>			
	<p>①木造公共建築物、木質バイオマス等への林産物の利用促進を図ることが重要であり、この対策のひとつとして、木質バイオマス利活用施設等の整備等に必要な資金の借入れについて利子助成を行った。</p>	<p>29年5月～30年3月</p>	<p>八戸市、奥入瀬町、平川町、宮古市、一関市、那須塩原市、日光市、富士市、浜松市、潟上市、新潟市、妙高市、岐阜市、名古屋市、津市、松阪市、泉佐野市、神戸市、近江八幡市、福井市、岡山市、福岡市、太宰府市、徳島市、宿毛市、松山市、都城市、鹿屋市、長崎市、大村市</p>	<p>延3,280人</p>	<p>一般個人並びに法人</p>	<p>60,619</p>

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施 日時	実 施 場 所	従事者の 人数	支出額 (千円)
なし					